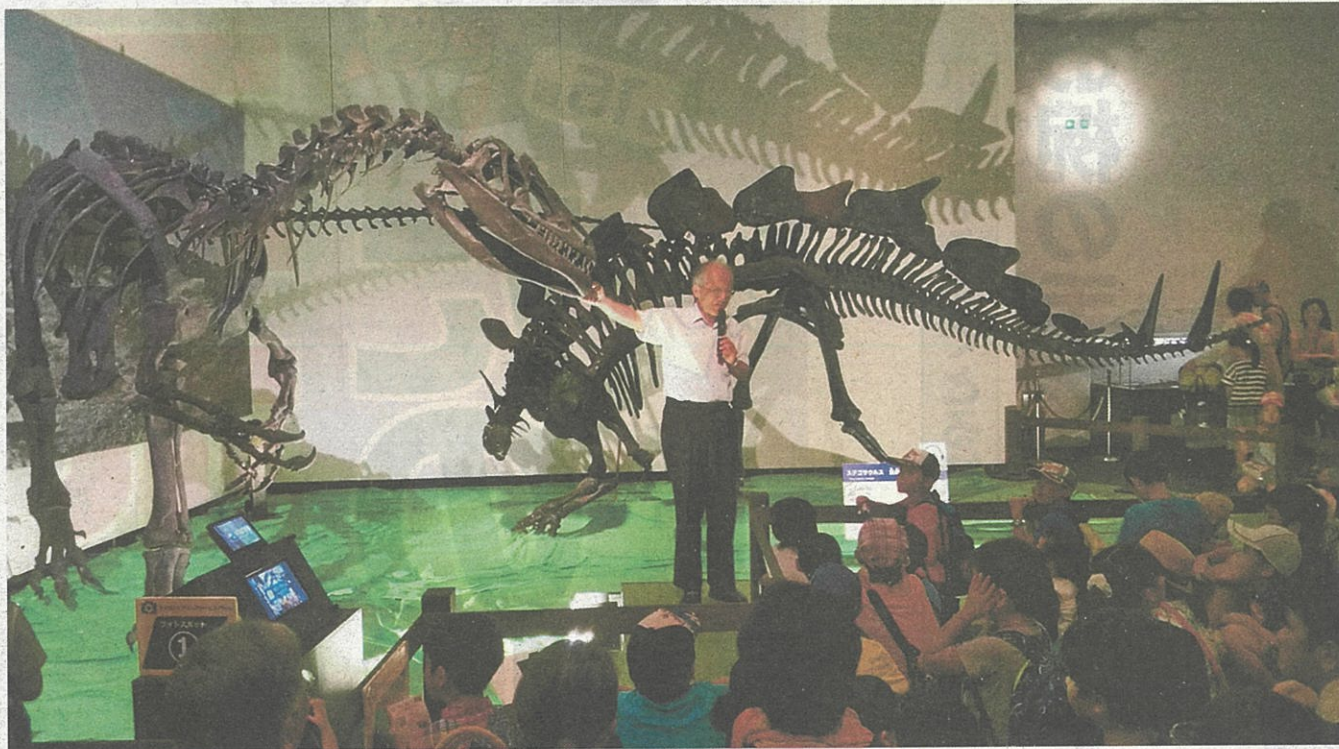


特集

アロサウルスとステゴサウルスの前で子どもたちに標本の解説をしていく様子。みんなとても熱心なのでびっけり



思い切り恐竜に熱中して

「研究者になるには?」。「化石ってどうやって掘るの?」。子どもたちから質問攻めにあいました



「恐竜研究者になるにはどうしたらいい?」
7月13日から9月1日まで、岡山市内で開かれた「世界大恐竜展」で説明ツアーをしたとき、一番多かった質問です。さてどう答えましょうか。
世の中には「むかし恐竜少年・少女だった」という大人がいます。幼少時、恐竜に熱中して研究者になりたいと思つたとのこと。今は会社員、公務員、先生、店長、芸術

家など、いろんな仕事をしておられます。つまり、恐竜の研究者にはならなかったのですが、恐竜少年・少女だったことをどうの方も、それはそれは楽しそうに話されます。それを聞くと、私はとてもうれしくなります。そして「この人の心のどこかに恐竜少年・少女が生きている」と思つのです。
それでいいじゃないですか。スポーツ選手を目指す子はたくさんいますが実際になれる人はほとんどいません。でもスポーツに熱中したことはいろいろな形でその人の宝となり、役立ちますよね。それと同じで、恐竜に熱中した経験は、いずれきつどこかで役立つと私は思います。だから「恐竜の研究者になるには?」の答えは「安心して思い切り恐竜に熱中してください」「そのためにすべてのことを一生懸命勉強してください」です。で、中学生になっても本気で恐竜研究者志望だったら、私が詳しい相談ののりましよう。岡山理科大の恐竜博物館で、標本を見ながら話しましょう。ぜひお越しください。

恐竜の研究者になるには

恐竜調査隊

が行く

岡山理科大教授・石垣忍



まめ ち しき
豆 知 識

7万2086人。この夏休みに岡山シティミュージアムで行われた大恐竜展を訪れたお客さまの数です。今までに岡山で開かれた骨格や化石の展示中心の恐竜展では、一番だったそうです。大人も子どもも一緒に楽しんでくれたことが私は一番うれしかったです。